

事業名	芸術文化ネットワーク事業費			調査番号	12
細事業名	文化活動顕彰事業	財務コード	657801		
担当部課室	県民生活 部 生涯学習文化 課 芸術文化振興 担当 (内線)	1660			

## I 事業の概要

実施期間	始期 H10 年度 ~ 終期 年度		
実施主体			
目的	だれ(何)を対象に 本県の文化の向上、発展に貢献した者	その対象をどのような状態にして 表彰することにより、その功績を讃えらるとともに今後の活動を奨励	結果、何に結びつけるのか 県民文化の振興
内容	<p>「文化功労者賞」、「奨励賞」、「特別賞」及び「特別感謝状」からなり、各賞等の対象者は、次のとおり  「文化功労者賞」学術及び文化の振興に関し功績が顕著な者  「奨励賞」(1)やまなし県民文化祭(山梨県芸術祭を含む)の運営に携わり、芸術文化の向上及び普及などの功績が顕著な者  (2)地域において、文化財等の継承及び保存に関する活動並びに芸術文化の向上及び普及に関する活動を行い、その功績が顕著で他の模範となる個人又は団体  「特別賞」全国規模の大会等において特に顕著な成績を収めた個人又は団体 「特別感謝状」その他、他の模範となる個人又は団体</p>		

## II 事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

区分	指標	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31(R1)年度	R2年度	
活動指標	表彰者(団体)数	目標	8	8	8	8	8	8	
		実績(見込)	8	10	5	10	8	9	
		達成率	100.0	125.0	62.5	125.0	100.0	112.5	
		達成区分	b	a	c	a	b	b	
成果指標	県政功績者表彰受賞者	目標	1	1	1	1	1	1	
		実績(見込)	0	1	1	0	1	1	
		達成率	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	100.0	
		達成区分	d	b	b	d	b	b	
決算(予算) 単位:千円		213	232	108	246	261	356	356	

## III 事業の評価(平成30年度の業績評価)

活動指標	b	評価	年度により増減はありものの、予定通りの活動量があった。
成果指標	b		年度により増減はありものの、予定通りの活動量があった。

- ・「活動指標、成果指標の達成率」から事業の活動量、成果に係る一次評価の考え方を記載すること。  
・指標がない場合や指標を補足する必要がある場合には、指標によらない成果を用いて記載すること。

## IV 見直しの必要性(令和2年度に向けた改善等の考え方)

県関与の必要性	判定	<input type="checkbox"/> 必要性が高い	<input checked="" type="checkbox"/> 必要性がある程度認められる	<input type="checkbox"/> 必要性が低い
	説明	<input type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> 事業の拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input type="checkbox"/> 法令等により、県が実施することが義務づけられている <input type="checkbox"/> 県が実施しないと、県民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で困難である。 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 県民文化の振興が目的のため県関与は必須 )		
有効性(成果向上)	判定	<input type="checkbox"/> 大幅な成果向上が可能	<input checked="" type="checkbox"/> 成果向上が可能	<input type="checkbox"/> 成果向上はあまり望めない
	説明	表彰が励みとなり、継続的な活動の活性化に寄与している。		
見直しの余地	判定	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある	<input type="checkbox"/> 見直す余地がある程度ある	<input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がない
	説明	<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト削減を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( 投入したコストに対する目的寄与度合は十分であるため、見直す余地はない )		
その他	説明			
見直しの必要性	無	投入コストは必要最小限であり、目的寄与度合は十分であるため、見直す余地はない		

## V 見直しの方向(令和2年度当初予算等での対応状況)

現行どおり	説明	
-------	----	--

- ・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、IV見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。見直しがなければ「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。